

京都市地域・多文化交流 ネットワークサロン通信

発行日 2023年7月31日 編集・発行 京都市地域・多文化交流ネットワークサロン 第43号

生態系の表出、日々の育む豊かさが集う——東九条春まつりにて

中学校の吹奏楽部の演奏。朝鮮舞踊。フィリピン武術実演。ウクレレ。個性豊かな子どもたちを中心とした朝鮮半島伝統打楽器の演奏。アフガニスタンの女性たちの活動紹介。作業所で作られたクッキー、焼き肉のたれ。車いす体験コーナー。子どもたちの作品展。筍ご飯。フィリピンランチ。絵本の原画展示。高齢者福祉施設4ヶ所をつないだ中継・ビンゴ大会。多様な愛の形に関する展示。チヂミ。地域の小劇場の紹介。似顔絵。出来たてのフランクフルト、グリーンカレー。紙管ロケットの打ち上げ。夜間学校。



記録係の石井さんが撮影したフィナーレ「さむるのたまご」



2019年以降、久々に叶った凌風小中学校吹奏楽部の出演。

「私たち大学生で、はじめて来たんですけど、どういうおまつりなんですか?」「地域の写真展ってどんなことをしているんですか?」「ちょっと、あんた、写真撮るなら美人に撮ってや!」「そうそう、これが中村哲さん…知ってますか?ペシャワール会が現地の人と掘った水路…3月に見学に行った様子がこれで…」「車いす通ります〜」「ステージではインタビューをして、ラジオ収録も行います!」「利用者さんに中継してるから、このカメラに向かって手を振ってくださいね」…

振り返ればこのおまつりは、準備が始まった約半年前から、すでに始まっていたのでしょ。今回、日常的にサロンを利用している登録団体——地域交流や多文化共生に資する取組みを行っている人々——が71もあることを知り、その幅広く豊かなさまに驚きました。春まつりに向けた月1回の話し合いの場では、各団体より簡単に直近の活動の共有がなされます。もうすぐ開催するイベントの宣伝もあれば、例えば福祉施設の場合は利用者の方の様子の共有であることもあります。そうして少しずつ互いを知りながらまつりは形づくられていきました。

東九条春まつりは、大規模で華々しいものというよりは、日常で育てている豊かさを少し膨らませて集合させた、地に足のついたハレの場であると感じます。だからこそいっ

そうこの地域においてこの施設が「共生」に向け日々ネットワークを築き、交流の場を生み出し続けてきた草の根の取り組みや、そこから育まれてきた文化、その底力的一端を改めて感じられるものでした。また、私自身は肩の力を抜いて過ごすことができる場でもありました。次年度も登録団体として、どのように関わることができるのかを楽しみにしています。



センター内の展示会場。色鮮やかな作品が並んだ。

石井絢子（アートコーディネーター・一般社団法人HAPS）

<第11回東九条春まつり報告>

2023年4月22日（土）、コロナ前の春まつりに一步近づいた形で第11回東九条春まつりを開催することができました。石井絢子さんの文章にもあったように、たくさんの光景、たくさんのことは、たくさんの出会いや再会がありました。関係団体のみなさんをはじめ、参加して下さったみなさま、お越しく下さったみなさまに、心より感謝申し上げます。



「ほっこりラジオ」収録とステージ進行が同時に行われた。

第11回東九条春まつり 参加団体

展示

京都コリアン生活センターエルファ（ハナマダン東九条・エルファ共同作業所）、カラフル、京都ダルク、陶化老人デイサービスセンター、日本自立生活センター、東九条地域活性化セン

ター（ほっこり美術館）、東九条のぞみデイサービスセンター、凌風学区子育てステーション実行委員会（カトリック希望の家こども園・東和保育園・法光院こども園・松ノ木保育園・洛南保育園・希望の家児童館・山王児童館・放課後等デイサービス暖太・凌風小中学校コリアみんぞく教室）



児童館、こども園からも子どもたちが遊びに来てくれた。

ステージ

凌風小中学校吹奏楽部、京都文芸同（朝鮮舞踊）、真狩京都（フィリピン武術Kali）、アルンディ（歌）、さむるのたまご（朝鮮半島伝統打楽器）、司会：東九条地域活性化センター（ほっこりラジオ）

いきいきふれあいの輪っ！

京都コリアン生活センターエルファ（ハナマダン東九条）、故郷の家・京都、陶化老人デイサービスセンター、東九条のぞみデイサービス、協力：京都ダルク、NA関西エリア、東九条マダン実行委員会

出店・コーナー

アーツシード京都（THEATRE E9 KYOTO）、いたはし学園、桜園、教員グループ、京都コリアン生活センターエルファ（エルファ共同作業所）、京都ダルク、京都ふれあい工房、自主夜間学校いいあす京都、スウィング、地域福祉センター希望の家、日本自立生活センター、バザールカフェ、東九条空の下写真展実行委員会、東九条地域活性化センター（コミュニティカフェほっこり）、南エコまちステーション、南区地域包括支援センター、南同胞生活相談総合センター、RAWAと連帯する会、ワークス共同作業所

■参加者からの感想

いきいきふれあいの輪っ！より

準備段階から新型コロナウイルスの影響もあり、リモートで行おうと話が決まりました。様々な不安や心配はありましたが「利用者さんたちに楽しんでもらいたい！」という一心で、試行錯誤を繰り返していました。

春まつり当日、賑わっていた祭り会場を横目にネットワークサロンの中に入り、スクリーンの前に立ちました。花形職員を迎えるためにスクリーンに映し出された利用者さんはさながら、コロナ禍前の



リモートで行われた、今年のいきいきふれあいの輪っ！

あの「いきいきふれあいの輪っ！」を思い出させてくれました。久し振りに「東九条に帰ってきた！」という感覚でした。（任さんは、今年1月までの約3年間、ハナマダン洛北に勤務）

リモートだったので現場の声はあまり聞けなかったのですが、企画のビンゴゲームも想像以上の大盛り上がり！皆さんで振り付けを覚えた「ふるさと」も大成功！と、後にデイの職員たちから聞いてひと安心。リモートならではの良さを感じる一方で、来年こ



コロナ前のいきいきふれあいの輪っ！

そは皆で集まって「いきいきふれあいの輪っ！」を肌で感じられればと思いました。

任礼彬（京都コリアン生活センターエルファ・ハナマダン東九条）

車いす体験コーナーより

今年の春まつりは、例年やらせていただいている車いす体験や展示の他に、なんと、春まつりのポスター・チラシのイラストを描かせていただくという大役を実は担っていました。お声掛けいただいたときは「手描きの温かさが伝わるような感じにしたい。」というリクエストをいただいていたので、普段、自分が描いている絵の感じとは少し違うので「大丈夫かな？」という思いはありましたが、京都市地域・多文化交流ネットワークサロンや近隣の方々には日ごろからめちゃくちゃお世話になっているので、少しでも役に立ちたいという一心で描かせていただきました。貴重な経験をさせていただき、とてもうれしかったです。本当にありがとうございました。

そして、当日については今年も京都ダルクさんと一緒に車いす体験コーナーを実施することができました。今年の子いす体験コーナーは、スタンプラリー形式で行ったのですが、ステージが屋外設置ということもあったので、人の流れがどんな感じで子どもたちは参加してくれるかどうかなど、最初は少しソワソワしていましたが、しばらくする



車いす体験コーナー担当の下林さんと京都ダルクの皆さん。

と児童館の子どもたちがたくさん来てくれて大忙しになりました。子どもたちのサポートは京都ダルクのみなさんに主にやっていただいていたのですが、疲れなどが出ないか少し心配になるほど熱心に子どもたちの

サポートをしていただき感謝の気持ちでいっぱいです。今年はJCLの当事者スタッフの参加が分散していたり、少なかったりしたので、来年はJCLのスタッフを増員できるよう、更に頑張りたいと思います。これからもよろしく願いいたします。

下林慶史（日本自立生活センター）

出店・コーナーより

こんにちは、奥山愛菜と申します。私は4年前の大学2年生の春から地域に通うようになりました。昨年4月に大学を卒業して、今は東九条にある民間小劇場「THEATRE E9 KYOTO/シアターイーナインキョウト」で働いています。

お祭り当日は、さまざまな食べ物や手芸品、ステージに工作と多くの人が目移りしながら楽しんでいて、ワクワクとした活気で充満していました。そんな中、E9は初めてブース設置をしました。パンフレットやチラシを並べて、劇場と上演作品の紹介や年間会員を募集。東九条ではほぼ毎週面白い作品が生み出されている事を地域の方々に知ってほし



THEATRE E9 KYOTOの奥山さん

いという思いで参加しました。あと、それだけでは寂しいブースになると危惧して「絵しりとりコーナー」を作りました。結果、会員の募集はますますでしたが、絵しりとりの方はかなり進み。「劇場ってどこにあるの?」「おすすめの公演ある?」と、しりとりしながらE9を沢山の人の人に知ってもらいました。ちなみに完成品は事務所で空気を和らげる効果を担っています。

加えて、隣では一緒に活動している「空の下写真展とただいも」もブースを出していました。様々な視点を持って地域にいられる事が、今の自分にとって重要なのだろうと実感した日でもありました。どんな形になるかはわかりませんが、来年も是非参加したいと思います!楽しみにしています。

奥山愛菜 (一般社団法人アートシード京都)

<登録団体紹介>

日朝友好青年・学生ネットワーク京都

日朝友好青年・学生ネットワーク京都は、在日朝鮮人、韓国人、滞日韓国人、日本人の青年・学生で構成されています。日本による朝鮮侵略・植民地支配の歴史を学び、依

然として残る朝鮮半島にルーツを持つ人々への差別に反対していくことを目的とし、2020年9月に発足されました。多種多様な方々が、この会を通して学び、議論し、行動に移してゆくきっかけとなればと思っています。

また、学習会やフィールドワークから始まり、今では在日朝鮮人・韓国人の方への聞き取り、資料化等を行い、2022年2月には聞き取り集「傾」第1号を発刊しました。そして2023年5月27日には、在日朝鮮人聞き取り集会2023を、京都市地域・多文化交流ネットワークサロンで行わせていただき、57名の参加のもと、「傾」第2号が発刊されました。

聞き取り活動自体、会のみなが経験もほとんどなく、それでも歴史から消されようとする現状に、少しでも先代たちの想いや葛藤を文字で残し、わたしたち含め多くの方々に知ってもらうべく聞き取り集「傾」の発刊に向けた活動がスタートしました。

今後としましては、学習会やフィールドワーク等、わたしたちがまずは学び、より多くの方々に知ってもらうべく活発に活動を広げていきたいと思えます。

学習会のみ参加や、フィールドワーク等の参加も大歓迎ですので、もし興味あれば気軽にご連絡ください。

連絡先：nittyoyuukou@gmail.com



編集・発行 京都市地域・多文化交流ネットワークサロン

□所在地：601-8006 京都市南区東九条東岩本町31

□tel：075-671-0108 □fax：075-691-7471

□開館時間：9時～17時 □E-mail：info@kyotonetworksalon.jp

□webサイト：http://www.kyotonetworksalon.jp

□JR京都駅八条口・JR京阪東福寺・市営地下鉄九条駅より徒歩15分

□京都市バス202・207・208系統 九条河原町より徒歩10分

16・84系統 河原町東寺道より 徒歩1分